



業種

空調設備の保守管理

部署

技術グループ

用途

- ・空調設備の定期点検
- ・不具合が発生した際の原因確認

導入前の課題

- 施設の空調設備に不具合が生じた際に直接覗き込むことが出来ない部分を確認するためには設備の分解をしてから確認する必要があり、時間を要した。
- 原因を追究するには脚立が必要だが、脚立は場所を取るため保管している営業車まで取りに行く必要があった。持ち運ぶのにも人的負担が大きかった。

導入後の効果

- 覗き込むことが出来ない箇所に「カメラ＋自撮り棒＋タブレット」のセットで、ポール点検用カメラの代わりとして使用。解体することなく確認でき、**作業効率を大幅に向上**させることが出来た。
- メンテナンス、トラブル作業の内容を**画像によるドキュメント管理**が可能になり、**作業の詳細が理解しやすくなった**。
- 遠隔支援システムでの技術支援・複眼確認が可能になった。

